

令和 7 年度第 1 回郡山市廃棄物減量等推進審議会 議事録	
日時	令和 7 年 8 月 29 日（金） 午後 1 時 00 分～午後 3 時 00 分
会場	郡山市役所西庁舎 5 階 5－1－2 会議室
出席者	（出席委員 15 名） 中野和典会長、堀川紀房副会長、沼田大輔委員、影山敏宏委員、鈴木光二委員、深澤幸子委員、小林裕子委員、柳田栄喜委員、青柳宏子委員、関根英樹委員、小野広司委員、岡野理委員、伴多恵子委員、安増信委員、白石田和彦委員 （欠席委員 5 名） 源川博久委員、佐藤正樹委員、大槻礼子委員、柳沼智委員、菅野良子委員 （事務局） 大越環境部長、佐久間環境部次長兼環境政策課長、伊東 5 R 推進課長、佐藤資源循環課長、柳沼 5 R 推進課長補佐、穴戸資源循環課長補佐、小林ごみ減量推進係長、佐藤主任主査兼 5 R 推進係長、橋本指導係長、加藤サーキュラー推進係長
内容	1 開 会 2 会長、副会長選出 3 議 事 （1）これまでの審議内容について （2）ごみ減量の取り組みについて （3）今後の審議会の進め方について 4 報告事項 （1）制度改正に伴う周知実績について （2）適正なごみの搬入確認について （3）河内クリーンセンターの再整備について （4）事業系一般廃棄物減量計画書の作成及び提出について 5 そ の 他 6 閉 会
1 開会	
事務局 柳沼補佐	令和 7 年度第 1 回郡山市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。 本日の会議でございますが、終了は午後 3 時 00 分を予定しております。 はじめに、会議の成立に関してご報告いたします。

	「郡山市廃棄物減量等推進審議会規則」第3条第2項の規定により、委員の過半数が出席しなければ開くことができませんとありますが、委員20名のうち、本日は15名の委員が出席されておりますので、この会議が成立することをご報告いたします。 また、会議の公開についてですが、「郡山市附属機関等の会議の公開に関する要領」により、本来会議の公開を委員に確認して許可することになります。 本日の第1回会議につきまして、当日決定となっておりますため、本会議において決定した結果に従いまして、対応することとさせていただきます。
2 会長、副会長選出	
事務局 柳沼補佐	次に、会長、副会長の選出に移ります。 「郡山市廃棄物減量等推進審議会規則」第2条第1項の規定により、会長、副会長は委員の互選により定めることとなっております。 それでは、会長、副会長の選出について、ご意見のある方はお願いいたします。 （「事務局一任」の声） 事務局一任のご意見をいただきましたので、事務局案を提示してよろしいでしょうか。 （「異議なし」の声） それでは、事務局案を提示してください。
事務局 伊東課長	それでは、事務局案を申し上げます。 事務局案といたしましては 会長に 中野 和典委員、 副会長に 堀川 紀房委員 をご提案いたします。
事務局 柳沼補佐	それでは、委員の皆様にお諮りいたします。 ただいまの事務局案、 会長を 中野 和典委員、 副会長を 堀川 紀房委員 にお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

	(「異議なし」の声) 異議なしとの声をいただきましたので、拍手をもってご承認いただきたいと思います。異議の無い方は拍手をお願いいたします。 (拍手) 皆様のご承認をいただきましたので、事務局案のとおり決定いたします。 中野会長と堀川副会長は席の御移動をお願いいたします。 それでは、中野会長と堀川副会長に一言ご挨拶をいただきたいと存じます。
中野会長	引き続き会長職を務めさせていただきます。先ほど委嘱状交付式で市長が、ごみ減量 20%をおっしゃっていたので、我々も実現できるよう意見を出していければと思います。
堀川副会長	引き続き再任いただきましたので副会長の職を全うしていきたいと思います。
事務局 柳沼補佐	ありがとうございました。 それでは議事に入らせていただきます。 議事進行につきましては、郡山市廃棄物減量等推進審議会規則第 3 条第 1 項の規定により、中野会長に議長をお願いいたします。
中野会長	それでは、審議を進めさせていただきます。 まず、本会議以降の公開について委員の皆様にお諮りいたします。本審議会について、公開してよろしいでしょうか。 (「異議なし」の声) それでは、本審議会については、公開することといたします。
3 議事	
(1) 郡山市廃棄物の適正処理、再利用及び環境美化に関する条例の改正について	
中野議長	では、議事に移ります。 はじめに、次第の 3、議事に入ります。 (1) これまでの審議内容について、事務局より説明願います。

事務局 伊東課長	(事務局説明)
中野議長	新たな委員の方々もおりますので、改めてこういった経過を辿ったという共有でした。 本件についてなにかございますか？ (なし) では、これらの経過を踏まえて次に行きたいと思います。
(2) 令和7年度の事業について	
中野議長	次に、(2) ごみ減量の取り組みについて、事務局より説明願います。
事務局 伊東課長	(事務局説明)
中野議長	ただいまの事務局からの説明に、質問等ございませんか。
沼田委員	2つ質問したいと思いますが、紙が重要ということなんですが、回収スポットに雑紙を回収スポットに持っていくこともとても有効だと思いますが、ごみステーションで雑紙も回収しますということを打ち出したらいかがでしょうか？ もう1点は郡山ごみ減量20%っていうPRを展開されるってことなんですけど、機運を醸成するため、みんなで目指すとか書いてあるので、みんなでキャッチコピーを考えると、啓発のコンテスト的なものがあったもいいんじゃないかなという風に思いました。
事務局 伊東課長	古紙の集め方、そういったものをより具体的にどういう風に集めたらいいのかを検討してまいりたいと思います。 また、市民の方と一丸となって取り組んでいくためキャッチコピーとして、市民の動きをより醸成するための検証事業だったりとか、そういったものについても検討して参りたいと思います。
安増委員	郡山市の順位について郡山市だけが低いのでしょうか？福島県は全般的に低いのでしょうか？ほかの地域と比べて低いのか単純な疑問があります。
事務局 伊東課長	福島県は全国と比較して低い状態にあります。震災以降のごみの出し方の意識が戻らないことのあらわれなのかと認識しております。
中野議長	説明があった通り分析してないわけではなくて、現状こうだよという話ですね。今、郡山市は有料化しないで自助努力で減量できないかという方針ですが、東北の他県と郡山市が一緒かということ、例えば有料化しているか、していないかで状況が大きく違ってくるので、今日

	はそこまですべてのデータが揃えて順位をだしているわけではありませんが、そういう疑問を確認していただくのは非常に大事なのかなと思います。
柳田委員	自治会長をやらせていただいたときに、子どもは分別が素晴らしかった。減量のために市民一体としてやるのであれば、子どもから大人までみんな同じ目標に向かっていかないとダメなんじゃないかなと考えております。
事務局 伊東課長	大人に対してはウェブサイトや広報こおりやま、SNS等で減量と呼びかけるほか、出前講座などでも呼びかけたいと思います。子どもについては今年度からごみ減量教室を拡充しまして、子どもから大人まで全世代に対して、今後ごみ減量の取組を進めてまいります。
(3) 今後の審議会の進め方について	
中野議長	次に、(3) 今後の審議会の進め方について事務局より説明願います。
事務局 伊東課長	(事務局説明)
中野議長	ただいまの事務局から説明がありましたが、質問等ございませんか。
沼田委員	行政がごみを減らしてくださいって市民の人に言って歩くように感じられるが、一方でついてこない市民の人がたくさんいると思う。 今までと同じくお願いだけではなくて、ごみを 20%減らしたら税金がこんなに削減できるんだよとか、これは別のことに使えるんだよとか、前向きな雰囲気をもっと出してもらって、みんなで頑張ろうよ！っていう、もし減量に取り組んでいる人がいるんだったら、みんなで知恵を出し合うような前向きな気分を醸成するように全体として進めていただいた方がいいかな。ごみ処理の方ばかりを見ずに、もっと広く見ていただいて楽しくいききたいなという願いです。
事務局 伊東課長	今後、進める中でどうやったらこうインセンティブが働くのかなとか、ごみを減量したらこんないいことがあるというような政策を、みんなで考えていきたいと思います。
鈴木委員	出前講座を各自治会で受けて、市民一人ひとりがごみ減量を学ぶ体制づくりも重要ではないか。
事務局 伊東課長	我々の方もしっかり体制を整えて、是非そのような形で行きたいなと思っています。
小野委員	あの前の審議会までの中で大体皆さんのベクトルは同じ方向を向いていた気はするんですが、政治的背景なのかそこでストップしてしまった部分が私はわからないのですが、幸いにもいいタイミングで市長が変わられたので 1 番いいインパクトで物事を進めていくタイミ

	ングにあるんだと思うんですね。総合計画が今年度中に新しくなると伺っていますので、下部計画の廃棄物処理基本計画もできるだけ早く皆さんの意見に沿った、もしくは、市の方向性としていたいのを盛り込んで、市当局が1番懸念されてるのは市民のご理解ということなんだと思いますので、そこも自分で早め早めにPRされていかれた方が。目標がやっぱり減らしたいということがあるのであれば、今日ちょっとご説明いただいている中身だとちょっとのんびり感があるかなと。10年計画を作って終わるまで待つなくても別にいいのかな。そこも含めてしっかりと検討してはいかがかなという風に思います。例えばごみ減量20%の削減も相当前の基準で20%下げているわけですから、970gという数字もターゲットとしてベストなのか実現可能性というところもバランスとりながらしっかりと議論していければなと思いました。
事務局 伊東課長	一般廃棄物処理基本計画は3年後までありますが、ごみ減量20%も一刻も早く成果に結びつけられるよう努力していきたいと思います。
関根委員	最初の諮問自体がごみ減量化推進のための生活系ごみ処理費用の適正負担についてということで、無料では処理できないということで諮問されたんじゃないかと思うんです。新潟市はごみ袋有料化でごみ少ないが、郡山市は無料でごみ多いけど何でですかと聞かれたが、わからなかった。審議会でもっと話すべきじゃないかと思っていたが今日も20%という単なる数値目標を出しても具体性がないものを審議しても意味がないような気がしている。ごみが少ない市町村は有料化になっているところが多い、分別に対して非常に細かい指導もされているところが多い、市長が変わった時期でもありいろんなものを変える時期でもあるので、いろんな意見を市にあげる審議会にすればいいと思いました。
事務局 伊東課長	有料化の話が出ておりますが、前回の審議会でも事業系一般廃棄物の料金値上げを行っておりますので、効果なども数値化して検討材料にしたいと思います。中間答申いただいております粗大ごみについても実施の検討をしなければならぬと思っていますので、決して数字を掲げて終わることのないようにしていきたいと思っています。
4 報告事項	
(1) 制度改正に伴う周知実績について	
中野議長	次に、(1) 制度改正に伴う周知実績について事務局より説明願います。
事務局 佐藤課長	(事務局説明)

小林委員	あわせ産廃を停止することで予想される影響はありますか？
事務局 佐藤課長	産業廃棄物を持ち込まれている方々にはお知らせをさせていただいています。さらにチラシにQRコードであわせ産廃の受け入れ先一覧をみられるようにしています。 10月1日以降は受け入れを停止し、仮に持ち込みがあった場合はリストを提示してお持ち帰りいただくことになります。
岡野委員	あわせ産廃の受け入れを停止することで、見込みとしてはどのくらいの減量が期待できるのでしょうか？
事務局 佐藤課長	あわせ産廃そのものは郡山市のごみ量の算定からは外れていますが、約8,000トンと見込んでおります。また、クリーンセンターの焼却費用の削減や施設の寿命が短くなることで結果的に修理費用等が莫大になることから受け入れを停止させていただくことにしました。
(2) 適正なごみの搬入確認について	
中野議長	次に、(2) 適正なごみの搬入確認について事務局より説明願います。
事務局 佐藤課長	(事務局説明)
中野議長	今年度の割合が変わってきて、他自治体からの持ち込みが極端に減っているように見えますか？
事務局 佐藤課長	徐々には郡山市が厳しくやることが広まってはいるんですけども、それでもなおかつ巧妙な手口で持ち込もうとする方がいらっしゃるのが実情でございます。クリーンセンターの職員も対応には苦慮していますが、こういったものを減らしていくことによって、その郡山のワースト1脱却にもつながりますので、対策は続けていきます。
小林委員	身分証明のチェックの仕方はどのようなになっているのでしょうか？
事務局 佐藤課長	基本的には免許証を提示していただいています。運転手じゃなくて同乗している方の場合には、その他確認ができるようマイナンバーを見せていただいています。亡くなられた方の家族の場合は居住のわかる公共料金の領収書などを確認させていただいております。
(3) 河内クリーンセンターの再整備について	
中野議長	次に、(3) 河内クリーンセンターの再整備について事務局より説明願います。
事務局 佐藤課長	(事務局説明)
中野議長	ただいまの事務局からの説明に、質問等ございませんか。

小林委員	新しいクリーンセンターの費用や何かプラスアルファの機能などわかる範囲で教えてください。
事務局 佐藤課長	現在の規模が1日300トンですが基本構想では1日160～220トンの大きさで検討しています。ごみ処理施設本体だけの費用は、物価の高騰が続いていますが、1トンあたり約1.5億円以上ぐらい必要になります。施設の規模についてはごみ量や人口を勘案して決めていきますが、1度建設すると50年使い続けることになりますので、できるだけ長く使える施設にしたいと思います。 その他、ごみを焼却した熱で発電やお湯を隣の逢瀬荘へ供給しております。今後の施設についても発電や熱利用のほか、付加価値のある事業を検討しております。富久山クリーンセンターでごみを燃やした排ガスから二酸化炭素を取り出して、都市ガスを作ったり農業部門利用したりする実証事業に着手しておりますので、そういったものも想定しながら、次期河内クリーンセンターの基本計画を策定していきます。
中野議長	30年40年使っていく中で人口減少やごみの量も減っている中で大規模な施設は調整しにくいと思います。効率的に燃烧させるのに富久山クリーンセンターと上手く回していく計画が必要になっていくと思います。
(4) 事業系一般廃棄物減量計画書の作成及び提出について	
中野議長	次に、(4) 事業系一般廃棄物減量計画書の作成及び提出について事務局より説明願います。
事務局 伊東課長	(事務局説明)
中野議長	ただいまの事務局からの説明に、質問等ございませんか。
沼田委員	対象は公的機関も含むのでしょうか。また、計画書を出さない事業者がいた場合の対処方法は？
事務局 伊東課長	対象に公共施設も含まれます。 計画書を出さない事業者については先進自治体の事例を参考に対応を考えてまいります。
沼田委員	正しく報告されているかのチェックについては？
事務局 伊東課長	いい加減に書かれたものを鵜呑みにすることはできないので今後検討してまいります。
沼田委員	集まったデータは集計結果だけでも公表していただけたらいいなと思います。
事務局 伊東課長	可能な限り公表していきたいと考えております。

中野議長	インセンティブが働くような制度になっていないので、取り組みを表彰するとか検討していくとよいと思います。
5 その他	
中野議長	次に、次第の5、その他に移ります。 委員の皆さんから何かご意見等ございますか。
沼田委員	資源物回収スポットマップ事業のQRコードを読みましたがマップまでの工程が多いのと、タベスケの協力店をもっと増やしていった方がいいと思います。
中野議長	このほか事務局からなにかありますか。
事務局 大越部長	(ラムサール条約について事務局説明)
中野議長	ただいまの事務局からの説明に、質問等ございませんか。 無いようですので、これで終了とし、議長の職を解かせていただきます。 ご協力ありがとうございました。
6 閉会	
事務局 柳沼補佐	中野会長、ありがとうございました。以上で、令和7年度第1回郡山市廃棄物減量等推進審議会を終了します。